

子どもの自閉スペクトラム症

～困りごとと配慮のあり方～



「合理的配慮」が2024年から法律で完全義務化されるなど、自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害を取り巻く環境は医療、福祉、教育、就労等の各分野で大きく変化してきました。一方で、特性への理解や受容はいまだ十分とは言えず、子どもの将来を考える家族が「親亡き後」に不安を抱えることも少なくありません。

本フォーラムでは、子どもの発達障害と35年にわたって向き合ってきた精神科医の本田秀夫さんをお招きし、さらに、当事者や保護者の声に耳を傾けながら、将来を見通しての当事者への寄り添い方や、学校での対応など、明日から活かせる知見を共有していきます。

日時

2026年12月6日(日)

会場

草津クレアホール

開場：午後0時30分 開演：午後1時
終演：午後4時30分(予定)

滋賀県草津市野路六丁目15番11号
JR「南草津」駅から徒歩約10分
(駐車場に限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。)
※裏面に案内地図が記載されています。

会場参加型・無料・定員600名

※ライブ配信・アーカイブ配信の予定はありません

プログラムと出演者

講演

「自閉スペクトラム症の子どもは何に困ってる？」

本田 秀夫

信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授／精神科医

シンポジウム

「当事者の声から支援のあり方を探る」

パネリスト

本田 秀夫

元村 祐子

自閉スペクトラム症当事者／当事者の母
成人発達障害当事者自助グループ「UnBalance」代表

当事者「K」

20代 自閉スペクトラム症当事者

小崎 大陽

大津市発達障害者支援センターかほん 専門員
(社会福祉法人しが夢翔会)

※出演者に変更が生じた場合は、NHK厚生文化事業団のホームページでお知らせします。

参加申し込み

ウェブ

●NHK厚生文化事業団のウェブサイトから
<https://www.npwo.or.jp/info/34151>



はがき

- (1)お名前・ふりがな (2)郵便番号・住所
- (3)電話番号 (4)メールアドレス(ある方のみ)
- (5)参加人数(4名まで) (6)同行者名
- (7)同行者の住所が異なる場合は、同行者の郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス(ある方のみ)をご記入のうえ、下記までお送りください。
- (8)個別の対応が必要な場合など連絡事項がある場合はお書き添えください。

▶宛先：NHK厚生文化事業団
「滋賀・自閉症フォーラム」係
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

締め切り

はがき ■11月27日(金)必着
ウェブサイト■12月5日(土)午後5時

※先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。

→参加者には、個別の入場者ID番号等が入った「参加証」をメールでお送りします。当日、受け付けで画面かプリントアウトしたものをご提示ください。メールの無い方には、封書で参加証を郵送します。

※同行者の住所が異なる場合は、それぞれの住所へ郵送します。

※個人情報情報は適切に管理し、本フォーラムについての連絡のみに使用します。

お問い合わせ

NHK厚生文化事業団

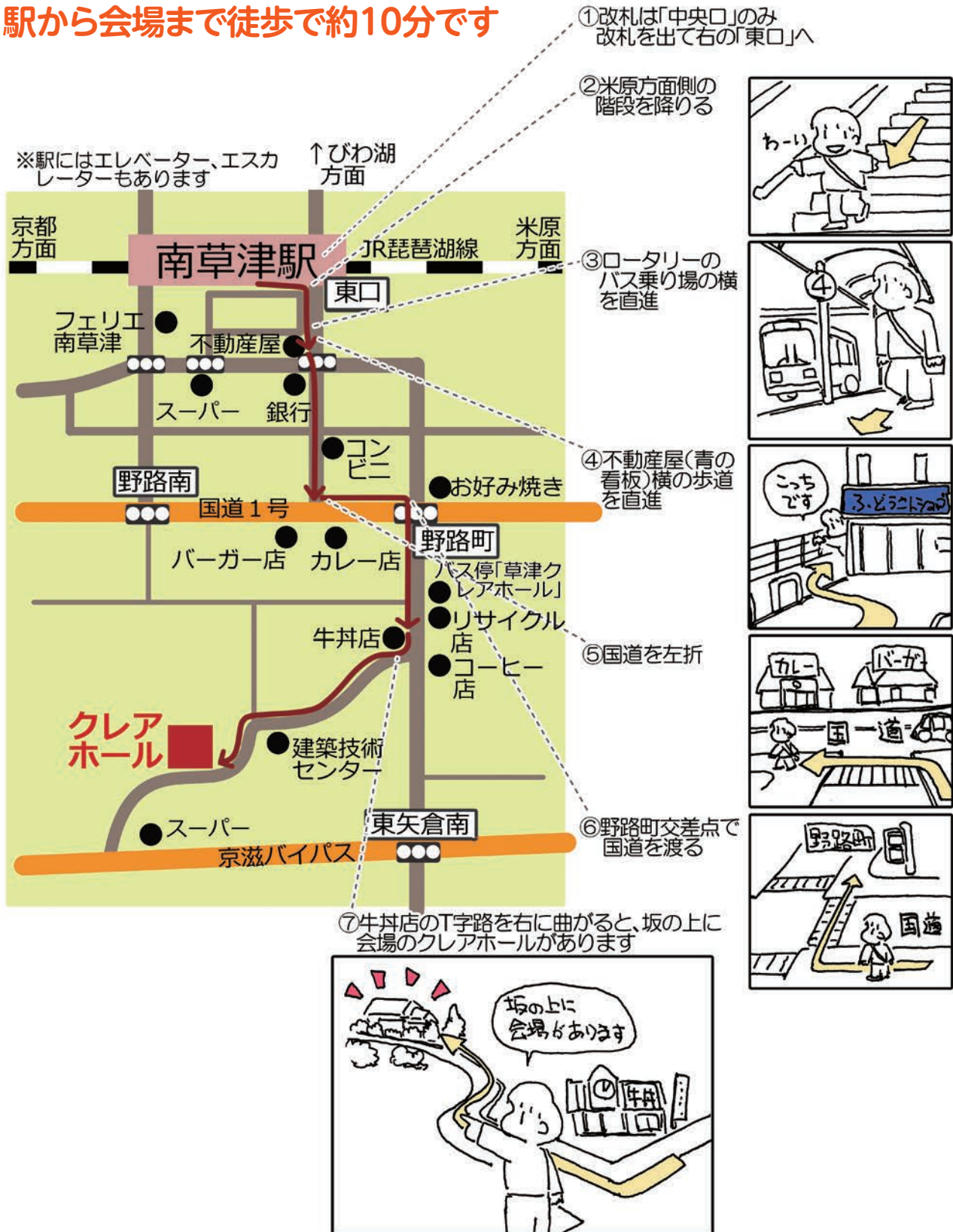
「滋賀・自閉症フォーラム」係

電話 03-3476-5954 (平日 午前10時～午後5時)

メール nhkh50@npwo.or.jp

JR「南草津」駅から会場まで

駅から会場まで徒歩で約10分です



●草津クリアホール 滋賀県草津市野路六丁目 15 番 11 号

- ・JR「南草津」駅から徒歩約 10 分
- ・近江鉄道バス／帝産バス「草津クリアホール」より 徒歩約 3 分

●駐車台数：141 台 利用料金：無料

※駐車台数には限りがあり、他のイベント参加者の利用も見込まれます。
公共交通機関をご利用ください。